

## 事業の背景・目的

・本事業は蒜山地域における自然再生協議会の設立を目的として、令和2年度より協議会の設立のための有識者ヒアリング等を実施してきた。本年度は協議会の立ち上げを具体化するために、設立準備会を実施したほか、令和4年1月には設立総会を実施し、本事業の主目的である「自然再生協議会」の設立を実現することができた。あわせて、全体構想も策定し、設立総会時に承認いただいた。さらには協議会員の募集や全体構想の検討を行うとともに、実施計画を実行するための手法や自然再生を評価するためのモニタリング手法を検討した。

## 事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

### 事業① 自然再生協議会の立上げ

- ・自然再生協議会立ち上げのために地域の自然や文化に詳しい有識者を集め、事前調整会議を2回開催した。
- ・上記結果をもとに、素案をまとめ、地域住民も交えた設立準備会を開催し意見交換を実施した。
- ・それらの結果をもとに令和4年1月に蒜山自然再生協議会が設立された。

### 事業② 実施計画の策定・

- ・有識者による事前調査の結果や既存の論文、文献情報を収集し、事業実施区域の設定やモニタリング手法の検討を行った。

### 事業③ 事業の試行

- ・事業の試行として、有識者による事前調査を実施したほか、協議会への参加を促すために研究者や茅葺職人が草原について語るセミナーを実施した。

## 得られた成果

- 実施計画案を策定したので、来年度以降、県及び主務大臣に提出し、助言をいただき、公表できるようにしたい。
- 活動委員会については、それぞれについて市の事業などと連携しながら取り組みを進めていく予定である。
- ①自然再生活動委員会では4月2日に山焼きを実施予定であるほか、5月の草刈り等を実施していく予定である。今後は、外部資金を獲得しながら自然再生事業を進めていく。
- ②自然資源利用活動委員会については、茅を刈り地域で活用していく取り組みを継続的に実施していく。また、Gamma細工の振興等にも取り組んでいき、自然資源から地域経済を回す取り組みを進展していきたい。
- ③広報・啓発活動委員会については、自然と親しむための講演会やワークショップの実施を企画するほか、協議会が設立したばかりであることから、円滑な協議会運営を目指し、その体制づくりを実施していきたい。